

地震の危険性

首都直下地震などで、大きな被害が想定されます

地震の大きな揺れにより、家具などが転倒・落下するほか、**家屋が倒壊**する場合があります。平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、亡くなった方の8割近くが、家屋倒壊による圧死・窒息死であったと報告されています。



阪神・淡路大震災で倒壊した建物



また、地震により強く揺らされると、地面が液体のようになる**液状化**が発生することもあります。平成23年の東日本大震災では、埼玉県内でも**液状化**により道路や宅地に被害を受けました。

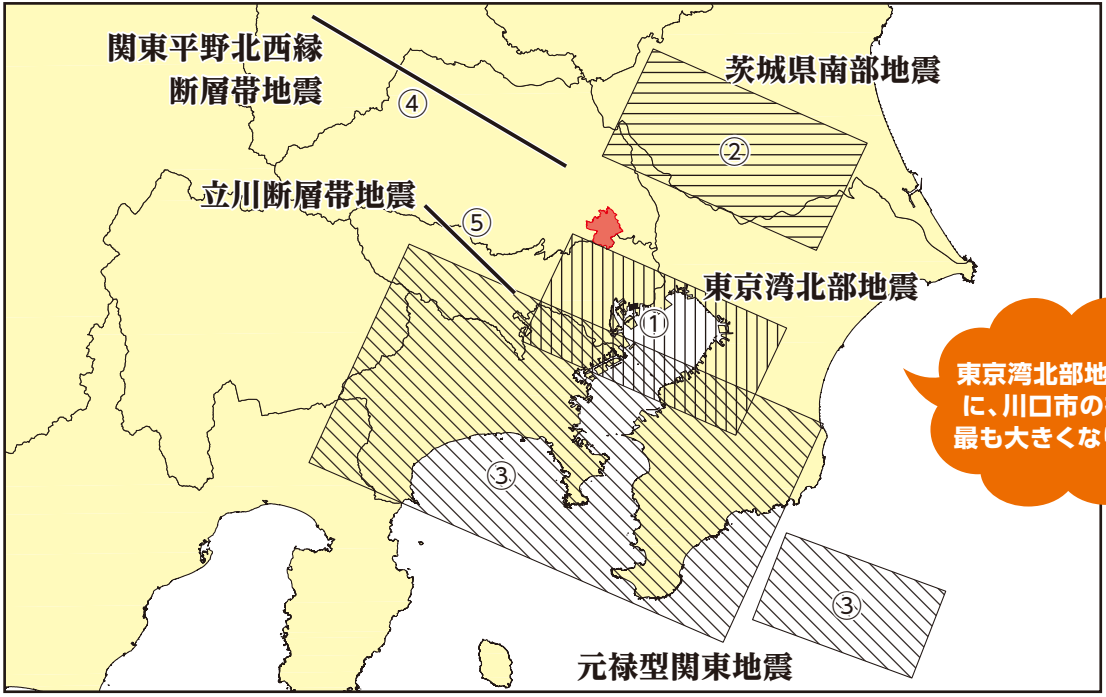
液状化現象による被害の様子

写真:災害写真データベースHP(一般財団法人 消防防災科学センター)より

川口市で想定されている地震

埼玉県は、県内で大きな被害が予想される5つの地震について、被害予測調査を行っています(平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査)。このうち、東京湾北部地震や茨城県南部地震などの**マグニチュード7クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は70%程度**とされています。

地震	マグニチュード
① 東京湾北部地震	7.3
② 茨城県南部地震	7.3
③ 元禄型関東地震	8.2
④ 関東平野北西縁断層帯地震	8.1
⑤ 立川断層帯地震	7.4

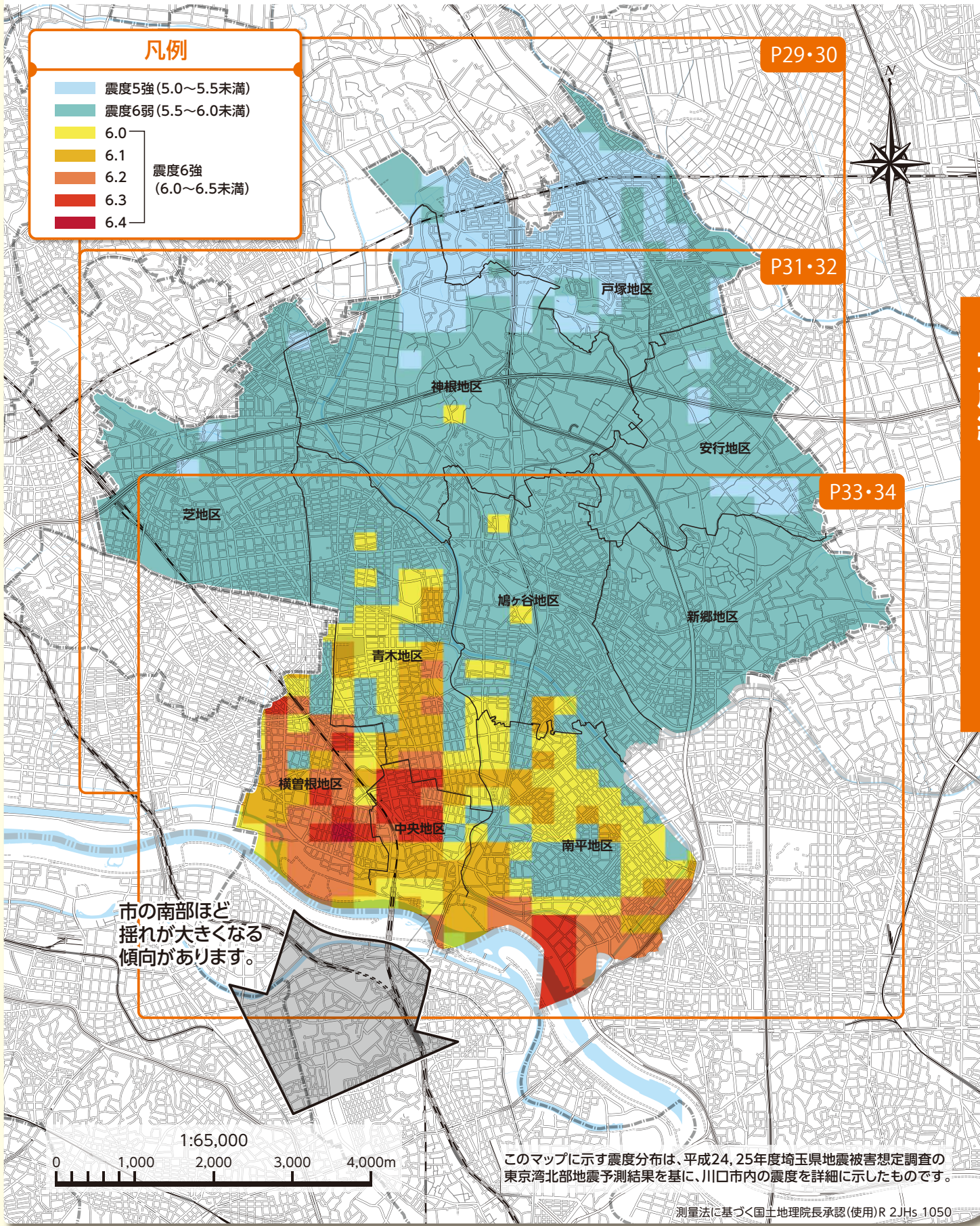


想定される地震の断層位置

東京湾北部地震の時に、川口市の被害が最も大きくなります。

地震ハザードマップ

地盤の揺れやすさマップは、地震の震源やマグニチュード、地盤状況などから、地表での揺れの大きさを想定したものです。東京湾近郊でマグニチュード7クラスの地震が発生した場合、市内では最大で震度6強の揺れが発生すると想定されます。



このマップに示す震度分布は、平成24、25年度埼玉県地震被害想定調査の東京湾北部地震予測結果を基に、川口市内の震度を詳細に示したものです。

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs-1050